

ははじま丸による列島周遊クルーズ

しまじまつつうらうら

～父島列島編～



令和4年10月30日（日）

予備日：11月5日（土）

小笠原諸島世界自然遺産地域管理機関 現地事務局

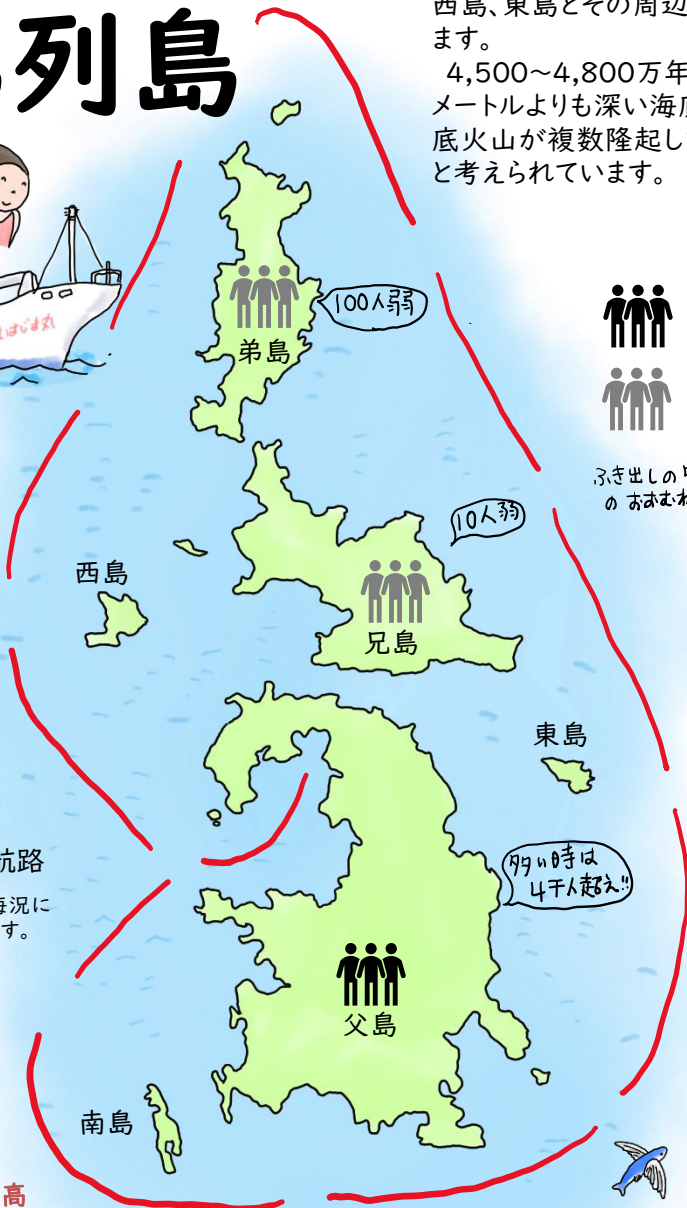
ちちじま れっとう

父島列島



父島列島は父島、南島、兄島、弟島、西島、東島とその周辺の小島からなります。

4,500~4,800万年ほど前に、数百メートルよりも深い海底で噴火した海底火山が複数隆起して列島になったと考えられています。



有人島

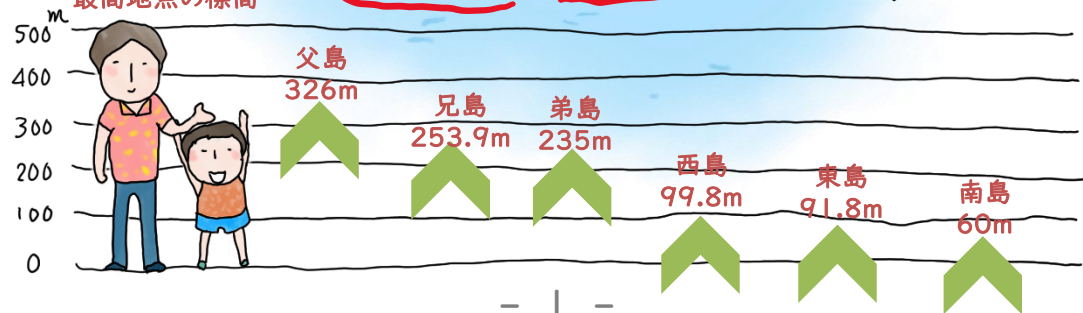


昔は有人島
(今は無人島)

ふき出しの中は 明治~大正時代の
おはなねの人口です。

クルーズ航路
右回り・左回りは海況によって
当日判断します。

最高地点の標高



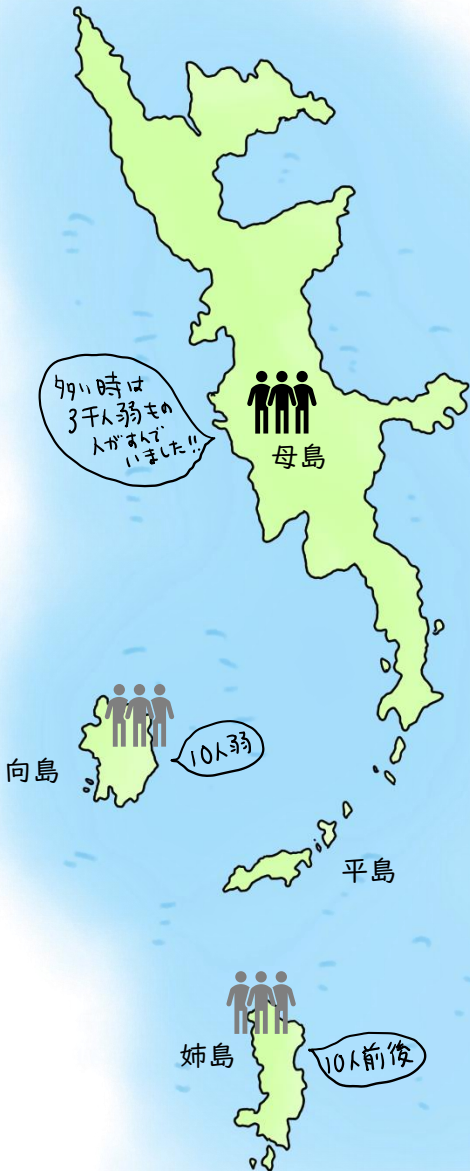
1999年の時は
4千人超え!!

ははじま れっとう 母島列島

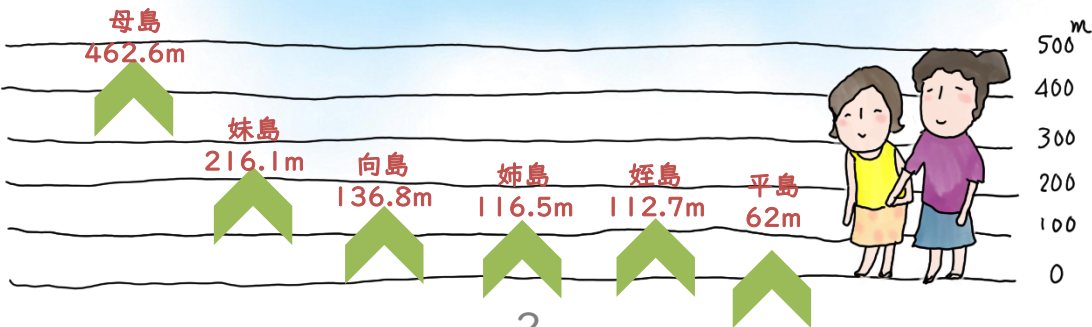
母島列島は母島、平島、姉島、妹島、姪島、向島とその周辺の小島からなります。

溶岩に挟まれた有孔虫（海に漂う原生生物）化石などから4,600~4,200万年ほど前の火山といわれています。

母島は海底全体が海面上に隆起してから噴火が始まり、島が形成されたと考えられています。



有人・無人島・人口の記載は以下の文献に示された記録をもとに記載しています。
小笠原諸島歴史日記 上巻 編纂 辻 友衛 1995年



父島

ロストパラダイス ～植生回復踏ん張り中～



面積 : 23.45km²
最高地点 : 326m

約2千人が住む島です。200年近く前に人が定住してから、戦前(1940年頃)には、現在の倍近くの人が住んでいました。集落や農地、その跡地は、開拓されたことで多くの外来種が定着してしまっていますが、実は小笠原の固有植物の8割以上が生育し、30余りの川が流れ、多くの陸水動物が生息しているのです。

東平をはじめとした森では、植生回復、希少種保全、景観改善などの取組が進んでいます。



オガサワラ
ベニシオマネキ
ここにしかない



地元団体によるビーチ
クリーンや外来種駆除
の取組も盛んです。



マイマイ移殖

遺産センターで育て
増やした巽島出身の
固有マイマイを巽島
に移殖する取組が
始まっています。

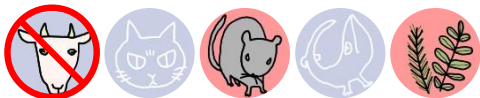


マイマイの砦

父島の固有マイマイは外来プラナリア類など
によってほぼいなくなりました。
しかし、巽崎には、わずかに生息しています。

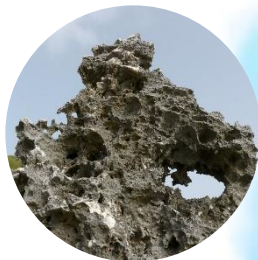


南島 みんなのアイドル



面積 : 0.34km²
 最高地点 : 60m

元々は父島南崎と一体の浅い海にサンゴ礁が形成され、それが隆起し、切り離されて水没し、南島となりました。石灰岩が浸食されてできた沈水カルスト地形が発達し、ラピエという鋭く尖った石灰岩の奇岩に覆われた独特な景観は、**観光スポットとして人気**です。



ラピエ



2001年



2021年

鮫池の植生変遷

1971年までいたノヤギにより、赤土露出など荒れていましたが、2002年に制定された利用ルールにより利用経路が定められ、事業やボランティアによる外来植物駆除が進んだことで、植生が順調に回復しています。

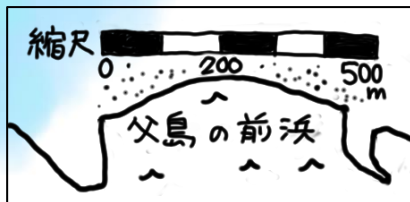
カツオドリやオナガミズナギドリ、アナドリなど海鳥の繁殖地です。



クマネズミ駆除を進めたことで、海鳥の繁殖成功率は高まりました。



カタマイマイ類の半化石



兄島 ベストオブ父島属島



面積 : 7.88km²
 最高地点 : 253.9m

父島からわずか数百メートル北の島には、小笠原最大の乾性低木林や岩上荒原植生がみられます。

兄島にしかないオガサワラハンミョウなどの昆虫類をはじめ、固有種が非常に多く、特に**固有マイマイは主要な系統が全てがおり、進化の見本**となる島です。

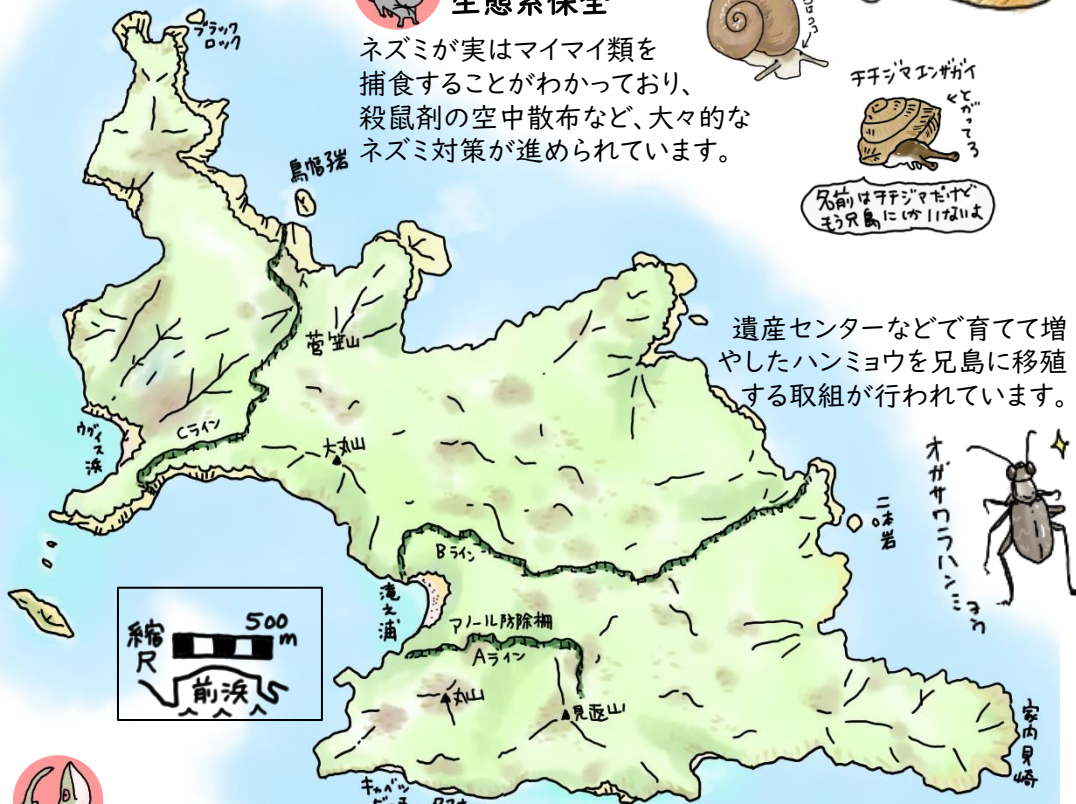


生態系保全

ネズミが実はマイマイ類を捕食することがわかっており、殺鼠剤の空中散布など、大々的なネズミ対策が進められています。



名前はチヂマオホシキウ島に似ているよ



遺産センターなどで育てて増やしたハンミョウを兄島に移殖する取組が行われています。



昆虫保全

2013年に兄島でグリーンアノールの侵入を確認して以降、アノール防除柵(A,B,Cライン)の設置とメンテナンス、調査と捕獲を進め、アノールの生息密度の低減を図っています。



アニジマハダカ
 スジヒメカゲロウムシ



乾性低木林

弟島 潜在能力ナンバーワン



面積 : 5.20km²
 最高地点 : 235m

森のシンボルとなるような大木に育つ **オガサワラグワ** の純粋な個体群が残る **唯一の島** です。

また、**固有のトンボ類が5種全て**が生息する **唯一の島** です。

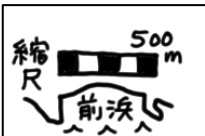
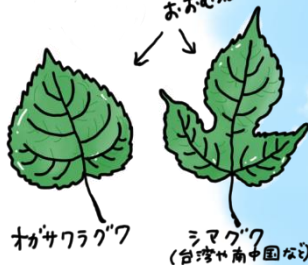


固有トンボ全種



桑の木の仲間であるオガサワラグワこと“オガグワ”は、高級木材としての伐採や、外来種であるシマグワとの交雑などにより数が減少しました。

個体によって、ちがうわけ、おもしろい葉



人工池の設置など、トンボの生息環境を保全してします。

西島 地元パワーで再生中



面積 : 0.49km²
 最高地点 : 99.8m

その名の通り父島列島の西にあり、オガサワラアザミなどの固有植物や、**色々な小型のマイマイ**が生育・生息しています。

モクマオウをはじめとした外来植物に覆われた森が多いですが、在来の森には、父島ではあまり見られなくなった**固有ハナバチ類**などの昆虫類が生息しています。



モクマオウに覆われた林内

モクマオウ (外来種)



トライオンノミガイ



西ノ岩



島の北東側は
本村林が突進している

東ノ岩

大岩



ボランティア活動により植生回復中

島の南西側は
草地がひろがっている



ヘタナリエンザガイ



ハハジマヒメ
ベッコウマイマイ



大学生ボランティアによる駆除作業



縮尺 0 200 500 m

父島の前浜



モクマオウ駆除
ボランティア見参!!!

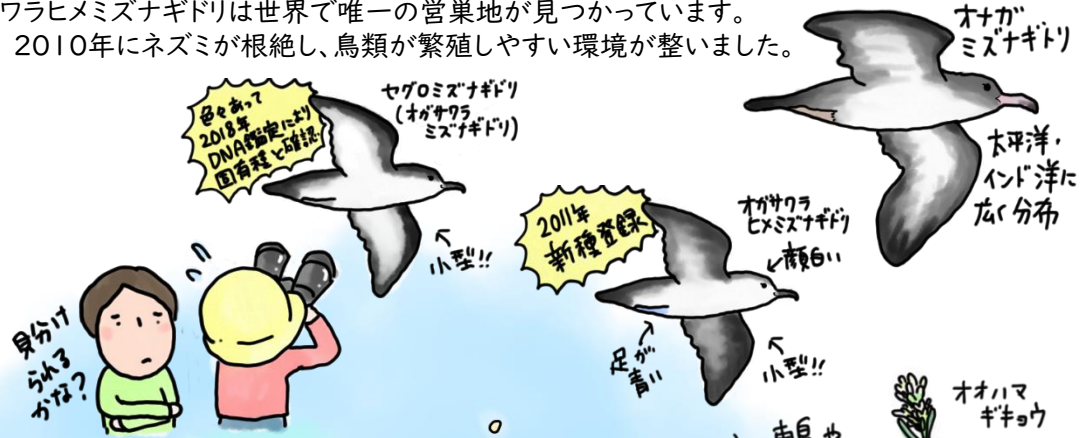
外来樹木の駆除や在来樹木の植え込みなど、地元団体が中心となったボランティア活動が、年間通して行われています!

東島 海鳥テキーラアイランド



面積 : 0.28km²
 最高地点 : 91.8m

アオノリュウゼツランが多く生える小さな島ですが、固有種のセグロミズナギドリやオーストンミツバメなど、**父島列島で最も多くの海鳥の繁殖地**になっています。特にオガサワラヒメミズナギドリは世界で唯一の営巣地が見つかっています。
 2010年にネズミが根絶し、鳥類が繁殖しやすい環境が整いました。

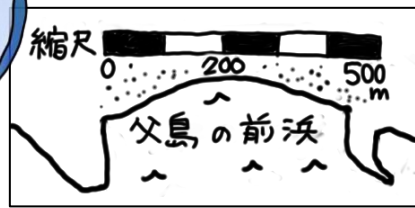


リュウゼツランは外来種で、その仲間が多い中南米では、テキーラをはじめとした蒸留酒の原料となっています。

父島列島で唯一のオオハマギキョウ群生地が見られます。



東磯
 ヒトハニガイ・ハタエンザガイなど
 小型陸産貝類の楽園でもあります!





固有種息づく “ヒューマン”アイランド

母島

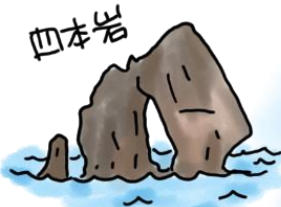
面積 : 19.88km²
最高地点 : 462.6m



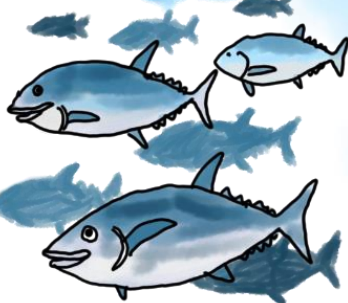
約5百人が住む島です。

父島に比べて人の影響が少なく、陸産貝類をはじめとした固有種などの自然が多く残されています。

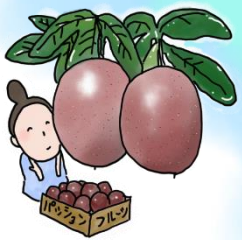
東崎は希少なマイマイが多く生息します。母島と陸続きですが、あまりにも道が険しいため、陸路で行くことがなかなかできません。



イソマグロの回遊ポイント!



島の南側には農地がたくさんあります。



向島 母島列島の 保全対策先進島



面積 : 1.38km²
 最高地点 : 136.8m

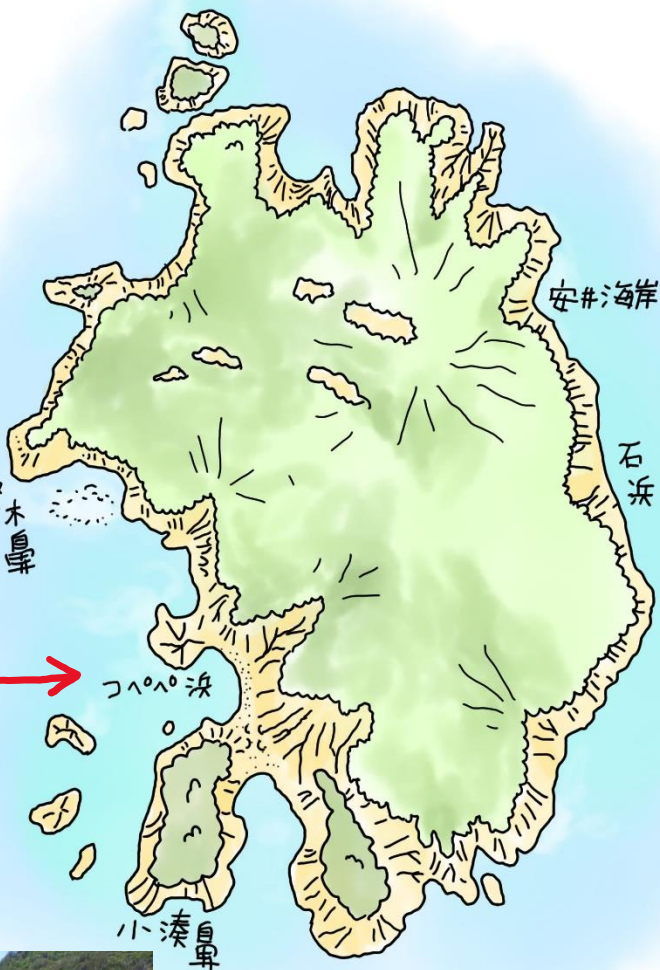
母島列島の中でも乾性低木林を中心とした島で、向島固有のムニンクロキの生育地や、**オガサワラカワラヒワの繁殖地**となっています。また、マイマイ類や昆虫類も種数が多く、近年も新種の昆虫が発見されています。

ネズミ対策や外来植物対策など、母島列島の属島の中で最も多くの保全対策が進められています。

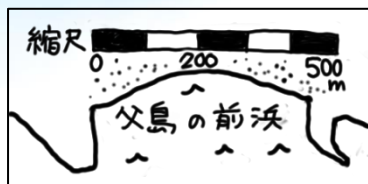


オガサワラカワラヒワはこの10年で確認数が半数程になっており、絶滅が心配されています。

向島では、モニタリング調査や人工水場・餌場づくりのほか、ひなや卵を食べてしまうドブネズミの駆除が進められています。



向島北部の露岩地のギンネム対策



平島 凸凹 裏切りナンバーワン



面積 : 0.60km²
 最高地点 : 62m

標高が低く、等高線もほとんどないことから、平らで歩きやすいと思われがちですが、平島という名に反して細かな凸凹が多くて迷いやすい地形をしています。

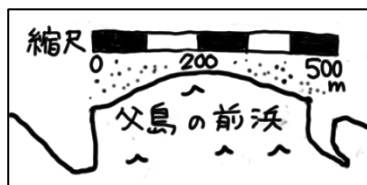
オガサワラススキの草原が広がっており、そこには固有の蝶の**オガサワラセセリ**や固有植物のオオハマギキョウが生息・生育しています。



オガサワラセセリは、平島から母島南崎に飛んでくることもあり、南崎のススキ草原の保全も併せて行うことが重要です。



オガサワラススキはセセリの食草になっており、この草原を保全するため、ガジュマルの駆除を行っています。

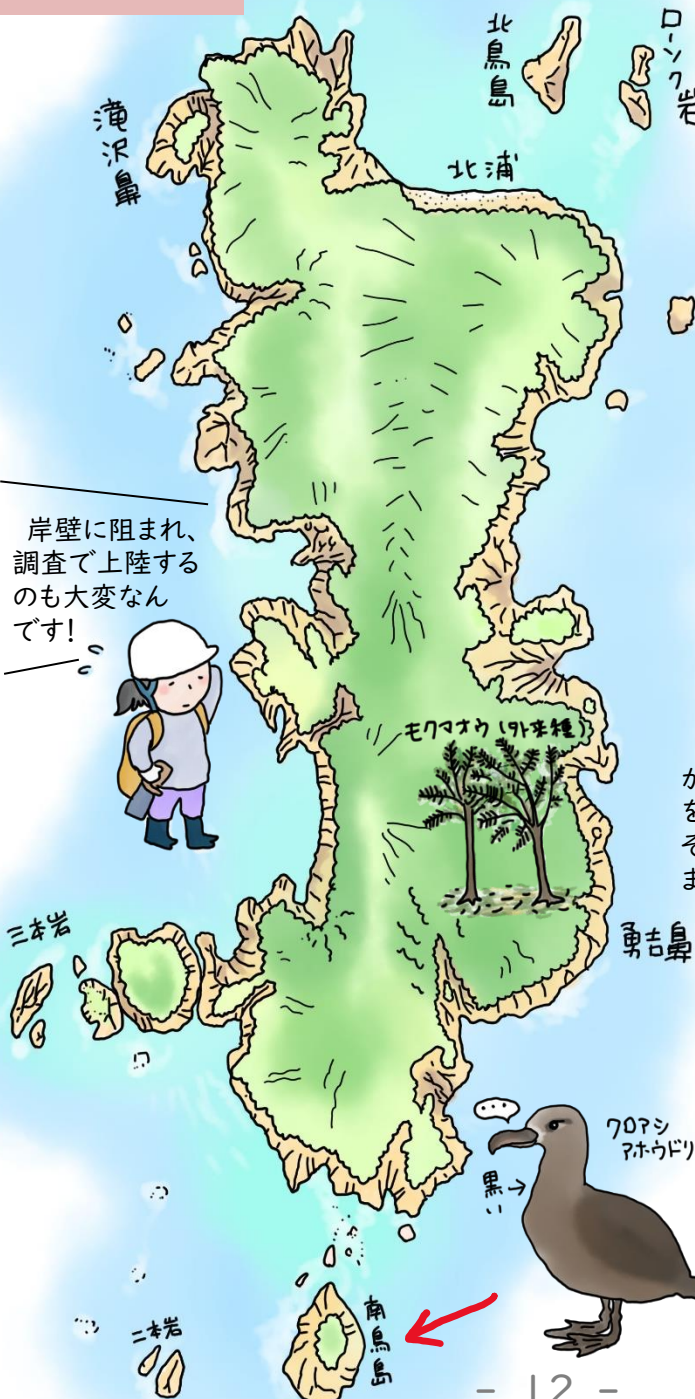


姉島

モクマオウに閉じ込められた島



面積 : 1.43km²
 最高地点 : 116.5m



母島の属島としては面積が最も大きい島です。
 島の外周はかつての開拓時の植林の名残かモクマオウの森が広がり、ところどころに在来樹木ですが鋭い棘があるシロツブが茂り、近寄りがたい様相になっています。しかし、島の中央部には**良好な乾性低木林**が残り、シمامロやヒメマサキといった固有植物が生育しています。

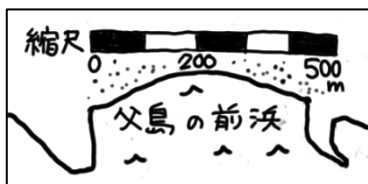
岸壁に阻まれ、調査で上陸するのも大変なんです！



小笠原には、3種のアホウドリ類が毎年冬に子育てをしに聳島列島を訪れます。クロアシアホウドリは、その他の列島の小島にも訪れています。



南鳥島は、このクロアシアホウドリの繁殖地となっています。



妹島

総合ナンバーワン
ベスト オブ 母島属島



面積 : 1.23km²
最高地点 : 216.1m

母島の属島として、以下のようにNo.1のものが多い島です。

- ・固有のマイマイ類が多い
- ・自然林の割合が多い
- ・標高が高い(=雲霧が発生しやすい)

さらに…
地形が複雑で、
藪や崖が多いこと
から、調査でとても
疲れる島としても
ナンバーワン
です!



鳥島には、姉島の南鳥島と同様に、クロアシアホウドリが毎年繁殖に訪れます。



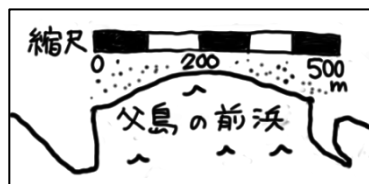
妹島南壁のハイアロクラスタイトと降下テフラに貫入した岩脈群



妹島南壁の厚い岩脈

妹島南壁は高さ100 mを越える断崖絶壁となっています。

最下部の黄褐色スコリア凝灰岩層とそれを覆う安山岩ハイアロクラスタイト(溶岩が水で急速に冷えて弾けてかたまっただけ)が一望できます。



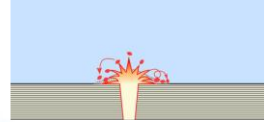
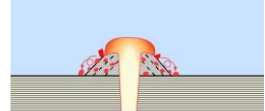
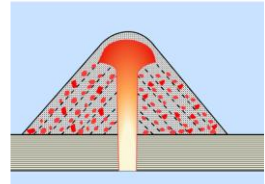
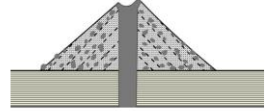
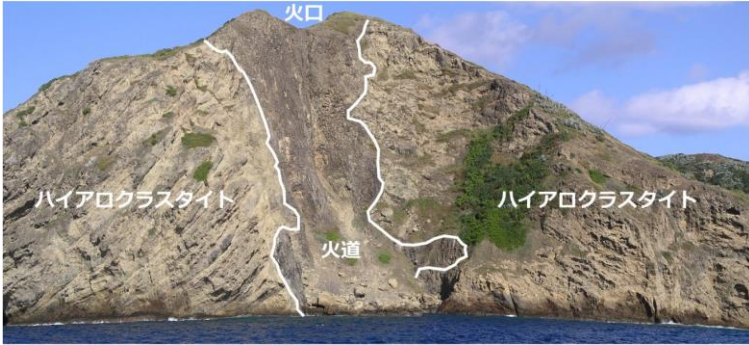
姪島 トンボのいる火星



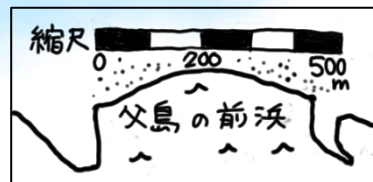
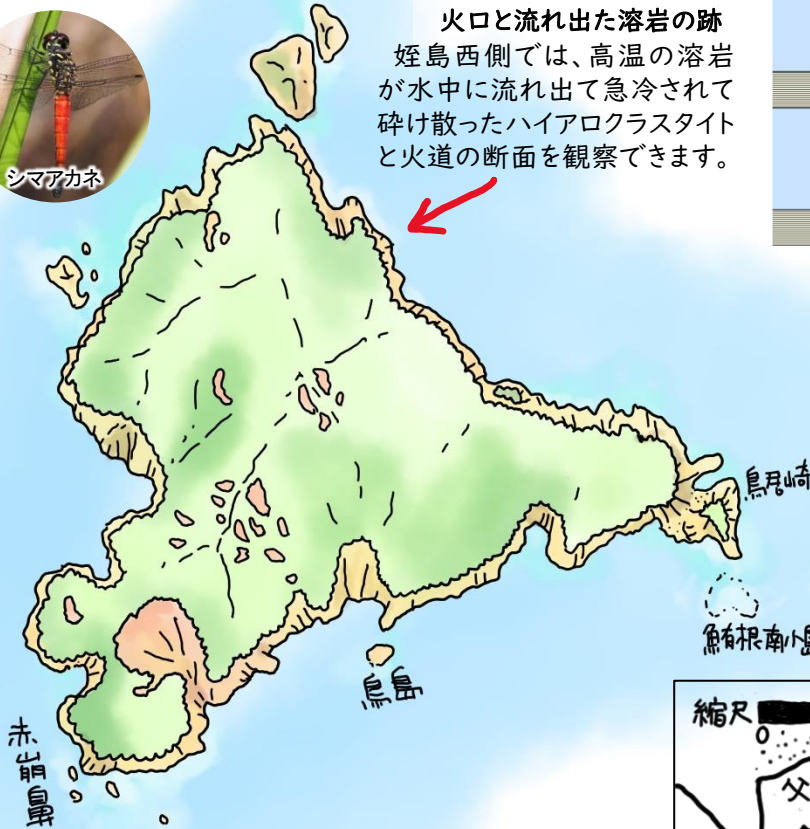
面積 : 0.80km²
 最高地点 : 112.7m

乾燥傾向が強い島で、むき出しとなった赤土にアオノリュウゼツランが生えている風景は火星のような不思議な景観が広がっています。

固有のマイマイ類が良好な状態にいるほか、シマアカネやオガサワライトトンボといった**固有トンボ類**も生息しています。



火口と流れ出した溶岩の跡
 姪島西側では、高温の溶岩が水中に流れ出て急冷されて砕け散ったハイアロクラスタイトと火道の断面を観察できます。



D J 嶋 太郎

解説協力

環境省	若松 佳紀
環境省	山本 捺由他
環境省	中川 竜希
保全センター	諸星 雄二
支庁土木課	大塚 海
都レンジャー	井上 正隆
IBO	佐々木 哲朗
野生研	藪内 良昌
自然研	芦澤 航
グリーン	浅井 健吾

写真・資料提供 金沢大学 海野 進（地質学者）

（一財）自然環境研究センター

主催 小笠原村

■ 凡例 ■

外来種対策の主な対象



ノヤギ



ノネコ



ネズミ類



グリーンアノール



外来植物

対策の進み具合



対策中



駆除完了



未着手



侵入なし